

# ■本大会出場チーム演技情報

## 15チーム（16校）以下、演技順

県名	学校名	本大会 出場回数	演技 分類	タイトル	チーム紹介
群馬県	ぐんまけんりつろう <b>群馬県立聾学校Bチーム</b> 	<b>初出場</b>	演劇	笑顔	私たちは、群馬県立聾学校Bチームです。本大会に出場するのは3年生が1人、2年生が3人の計4人です。総合的な探究の時間で手話パフォーマンスに取り組んできました。聾者ならではの困った経験や、健聴者とのコミュニケーションで失敗した経験を集め、その経験を元に劇を作りました。本大会では群馬聾学校高等部全員の想いを背負って出場します。初出場ということでもとても緊張していますが、貴重な経験を楽しみたいです。「笑顔」がテーマ！群馬県立聾学校から皆さんに、笑顔をお届けします。
鳥取県	とっとりじょうほく <b>鳥取城北高等学校</b> 	7回目	絵本語り	ひまわり	石畑くんは擬人化したユニークな動物を描くことが得意です。石畑くんのイラストと石坂さんの丁寧な解説でみんなで楽しく動物の手話を覚えましょう！！動物の手話紹介の最後は、石畑くんが考えた手話パフォーマンス甲子園のマスコットキャラクター！！はたしてどんな動物が登場するのか！？どうぞお楽しみに。そして、初めての絵本作品『ひまわり』を2人で手話語りします。いつもひたむきな2人にぴったりな『ひまわり』でみなさんの心にも元気な花を咲かせます。今年もここ手話の聖地で、それぞれの手話への想いを披露し合いましょう。
鳥取県	よなごひがし <b>米子東高等学校</b> 	4回目	ダンス・ 演劇	出会いと応援	私たちは鳥取県立米子東高等学校ダンス部です。「地域から愛される部活動」をモットーに、様々な活動に積極的に参加をしています。今回は、「出会いと応援」をテーマに、本校の卒業生でもある藤原聡さんがボーカルのofficial髭男dismの「HELLO」の世界観を手話ミュージカルとして表現したいと思います。特に、手話ダンスの息の合った動きに注目してご覧ください。最後まで笑顔で、たくさんの方々にエールを送ることができるよう、精一杯頑張ります。
石川県	たつるはま <b>田鶴浜高等学校</b> (第1回：優勝) 	9回目	歌唱・ 演劇	「ここ」の魅力、みんなに届け。「そこ」の魅力、私に教えて。	石川県立田鶴浜高等学校手話部です。私たちは、県内全域から集まっています。それぞれ異なる市町村出身ですが、学年関係なく仲が良い個性豊かな8名です。メンバーの半分以上は1年生で、手話を学び始めてまだ半年です。また、兼部をしているメンバーも多いためその視野の広さを活かした活動を目指しています。個性の色を重ねて、一人ひとりのバラバラの経験が「手話」を通じて、1つのアイデアにまとまり、輝いていく過程を楽しんでいます。

# ■本大会出場チーム演技情報

県名	学校名	本大会 出場回数	演技 分類	タイトル	チーム紹介
石川県	<p>かなざわほくりょう</p> <p><b>金沢北陵高等学校</b></p> 	2回目	歌唱・ ポエム	Thank you for meeting me.	私達は、金沢北陵高校生活福祉系列の2年生です。昨年度、先輩たちが出場したこの大会を見て、私達も手話に挑戦したいと思い、出場することを決めました。手話言語の技術はまだですが、私達が手話に興味を持ったように、この大会でのパフォーマンスを見た人が手話言語に興味を持ってくれると嬉しいです。パフォーマンスでは、手話に加え、目で見え楽しめる工夫を考えました。私達の熱い思いを手話パフォーマンスに乗せて、表現します。一生懸命頑張ります！！よろしくお願ひします！！
兵庫県	<p>なるお</p> <p><b>鳴尾高等学校</b></p> 	2回目	歌唱・ 演劇	ともに ～きこえの違いを超えて～	私たち鳴尾高校総合人間類型は、ボランティア活動、体験実習など校外での様々な経験を通して、共生社会に必要なコミュニケーション能力の向上を目指しています。手話に興味をもち集まったメンバーがほとんど初心者で不安もありましたが、各々個人で練習したり、教えあったりして無事完成させることができました。私たちの劇は、手話を全く知らない漫画家と耳のきこえないアシスタントの2人が会おうお話です。手話を知らない人にも手話を身近に感じてもらい、きこえに関わらずみんなで楽しめるように精一杯表現したいと思います。
青森県	<p>あおもりろう</p> <p><b>青森聾学校</b></p> 	2回目	演劇・ コント	世にもズしてる物語	青森県立青森聾学校です。青森聾学校は、津軽・南部・下北の三地方から生徒が集まっており、笑顔の絶えない毎日過ごしています。「なんか話が噛み合わないなあ。」そのような場面、ありませんか？手話でも、それは起こります。そんなすれ違いを面白く仕立てました。「手話は使ってみたいけど覚えるのが難しい。」「本当に伝わるのかな？」そのような手話に対するネガティブなイメージを私たちのコントで吹き飛ばします！手話ってこんなに面白い！昨年度よりパワーアップした団結力・絆で皆さんに笑顔をお届けします！ぜひご覧ください！
静岡県	<p>しずおかじょうほく</p> <p><b>静岡城北高等学校</b></p> 	<b>初出場</b>	演劇	SDGs食品ロス削減のために私たちができること	私たちは静岡城北高校グローバル科の1年生です。手話にちょっぴり興味があった3人が「鳥取に行きたい」、その一心で手話を始めました。まったく手話の知識がない中で一から学ぶことは難しい挑戦でした。しかし、たくさんの方々の協力や支えがあり、念願の鳥取本大会に参加することができました。予選の段階から、SDGsの目標の1つである食品ロス削減のために私たちに何ができるのか何度も話し合ってきました。今回は、世界の企業の取組にも目を向けたので、日本の企業で働く方々にも注目していただけたら嬉しいです。

# ■本大会出場チーム演技情報

県名	学校名	本大会 出場回数	演技 分類	タイトル	チーム紹介
愛媛県	まつやまろう <b>松山聾学校</b> 	4回目	演劇	私達の”ことば”	昨年度までは合同チームで3年間本選に出場してきました。今年は松山聾学校初の単独出場です。各自が手話言語条例について調べ学習を行い、分かったことは、各都道府県によって条文は違えど、みんなコミュニケーションについて様々な思いを抱えているということ。高等部生徒6人全員が手話言語に対する率直な思いをぶつけあい、今までの経験を出し合って、何度も話し合いを重ねてきました。私たちには叶えたい願いがあります。手話は私たちの“ことば”。私たちの思いを全力の演技でぶつけます。
埼玉県	さかど <b>坂戸ろう学園</b> おおみや ・ <b>大宮ろう学園</b> 	3回目 (坂戸)・ 初出場 (大宮)	演劇・ ポエム	夜明けのカラフル	私たちの言葉、日本手話を守りたい！今回は坂戸ろう学園と大宮ろう学園の有志が集まり、埼玉最強！のチームを結成しました。一人一人の個性がぶつかり合い、対話を重ねることでアイディアが生まれ、心がひとつになれる！予選では関東ブロックで1位を取ることができ嬉しかったです。次はさらに高い目標を目指して頑張ります。私たちの最大の武器は、手話ポエム！諸先輩方の活動に思いを馳せ、それぞれの想いを乗せて全力で演じます！たくさんの方の応援と笑顔を送っていただくと私たちはもっともっと頑張れる気がします！
神奈川県	よこはまなんりょう <b>横浜南陵高等学校</b> 	5回目	演劇	十花十色 ～みんな違ってみんな いい～	私たちは神奈川県立横浜南陵高等学校、社会福祉部です。普段は手話やボランティアなどの活動をしています。今回のテーマは「個性」です。私たち社会福祉部は、部員一人一人の個性がとても豊かで、活動をする上で日々新しい発見があります。「個性」という難しいテーマではあると思いますが、個性的な私たちだからこそその良いところを存分に発揮して、皆さんに勇気と元気を届けられるように一致団結してパフォーマンスします！
奈良県	ならけんりつ <b>奈良県立ろう学校</b> (第2回/4回/7回/8回：優勝、 第6回：準優勝、第3回：第3位) 	9回目	演劇	青い鳥	私たちは奈良ろう演劇部です。個性豊かな4名の部員と先生達で楽しく活動しています。発表作品はモーリス・メーテルリンクの名作「青い鳥」です。貧しい家庭で育ったチルチルは青い鳥を探す旅に出ます。その途中危ない目にも遭いますが、最後は「本当の幸せ」に触れるという作品です。どこにも負けない団結力と表現力は奈良ろう演劇部の誇りです。今日まで部員達と先生達で試行錯誤して絆を深めてきました。最高の舞台上に立てる喜びを感じながら、皆さんに作品のテーマを伝えられるように本気度MAXで頑張ります！

# ■本大会出場チーム演技情報

県名	学校名	本大会 出場回数	演技 分類	タイトル	チーム紹介
福岡県	<small>みい</small> <b>三井高等学校</b> 	6回目	歌唱・ 演劇	わかりません…。	<p>私たちは、ボランティア部に所属し、ボランティア活動や手話の練習等をしています。部員の一人ひとりが明るく、個性的で、活動の時は笑い声が絶えません。時には、意見がぶつかることもありますが、とても仲がよいです。今回の手話パフォーマンス甲子園の取り組みでは、けんかもなく、いい意味でお互いに指摘しあいながら練習できました。正直なところ、手話は上手ではありませんが、相手に伝えたいという強い気持ちがあれば、私たちの思いは伝わると信じて、かけがえのない仲間と最高のパフォーマンスを披露したいと思います</p>
熊本県	<small>くまもとろう</small> <b>熊本聾学校</b> <span style="border: 1px solid red; padding: 2px;">選手宣誓</span> <small>(第3回：優勝、第7回：準優勝、第5回：第3位)</small> 	8回目	演劇	その手が生み出すもの	<p>こんにちは！ 熊本聾学校の手話落語部です。今回は、4人の部員が本当にあった体験談をアレンジして発表します。何気ない毎日の暮らしの中で起こる出来事に、私たちはへこんだり、元気をもらったりしています。そのたびに、いろいろな発信をしてきました。私たちの第1言語 一手話一 がコミュニケーションツールとして、社会にもっともっと広がれば、いつかこの出来事がプラスの出来事になるでしょう。私たちは、私たちにできることをしていきます。明日はもっと良い日になる。そんな願いを込めて、演技をお届けします。</p>
鳥取県	<small>とっとりろう</small> <b>鳥取聾学校</b> <small>(第1回：準優勝)</small> 	6回目	演劇	禍を転じて手話を聴く ～五感でつながる 私たちの絆～	<p>高等部一、二年合わせて八名のチームです。発表内容について、テーマ、台本、演技と一から作り上げてきました。意見を出し合ったり、実際に演技を試みたりする中で、互いの考えや良さを認め合える良いチームになってきました。ときに真剣に、ときにふざけ合える、裏表なく何でも言い合える仲間です。今回のパフォーマンスは、そんな生徒たちの普段の学校生活をそのまま演技にしています。手話の奥深さや仲間との絆をいきいきと表現します。お楽しみに。</p>